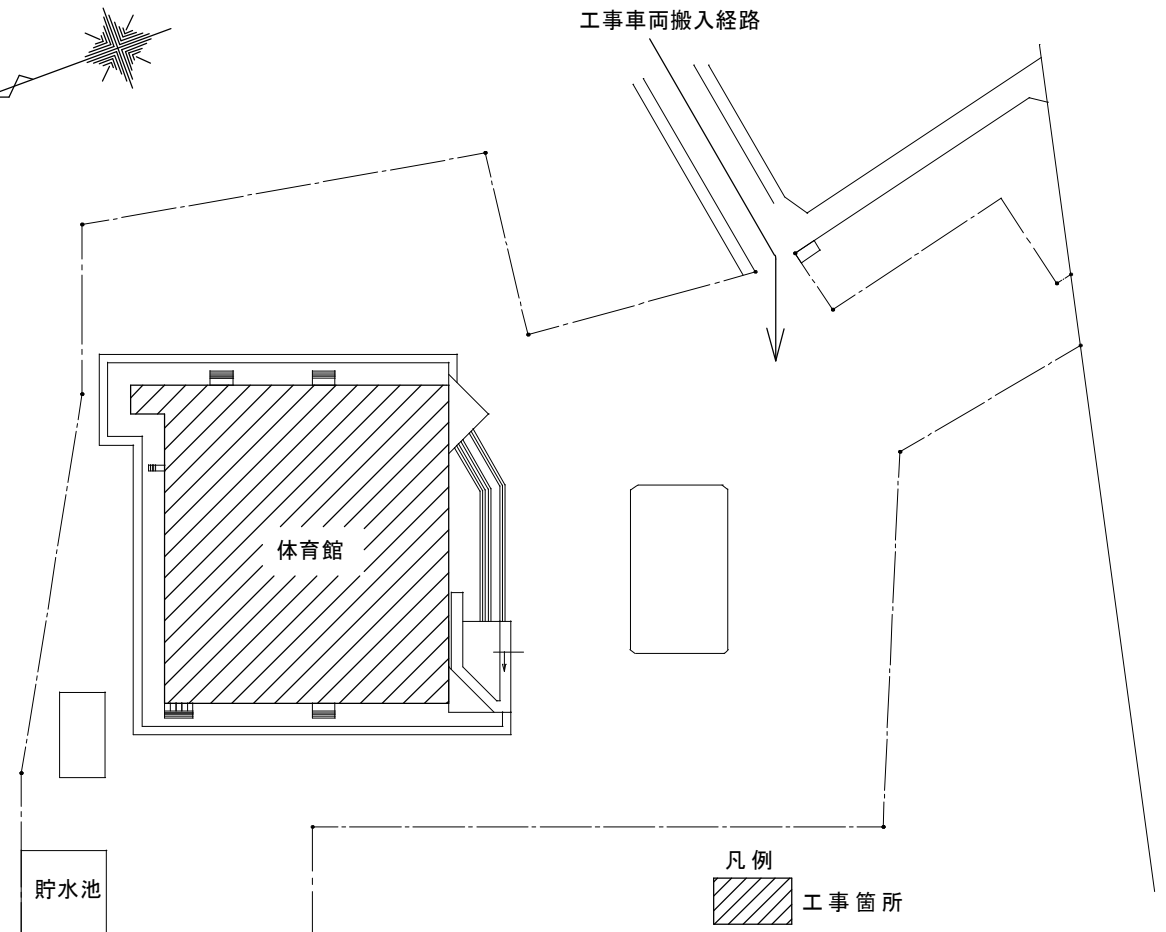
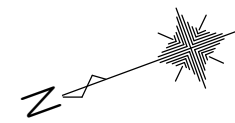


位置図



配置図

### 特記仕様書

#### 【工事概要】

- ・本工事は、津市久居体育館における、直流電源装置と非常用発電機の更新を行うものである。

#### 【施工条件】

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・機器材料等の納期を確認し、契約後速やかに承認図を提出すること。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、作業日については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・近隣に対し騒音・振動・粉塵等を配慮した施工を行うこと。
- ・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づいて、受注者は受注時において工事着手前に「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。また、工事完了後にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行い、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出すること。
- ・工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行うこと。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
- ・直流電源装置の更新時は安全を考慮し、停電作業とする。停電作業時は仮設発電機（1φ100V 10kVA 1台）を設置し、管理事務室内（1L-2）へ送電する。

#### 【解体撤去処分】

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、速やかにマニフェスト(A、B2、D票)を市監督員に提示すること。
- ・「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。

#### 【適応基準】

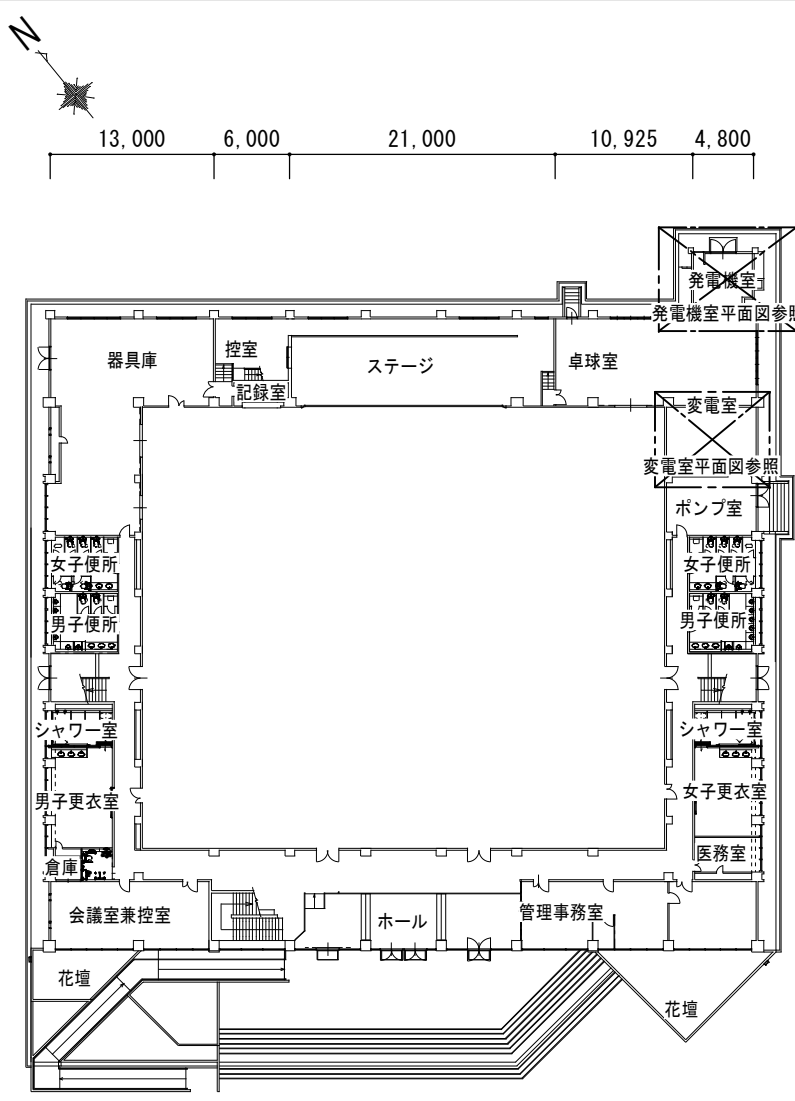
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- ・「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」

独立行政法人 建築研究所監修

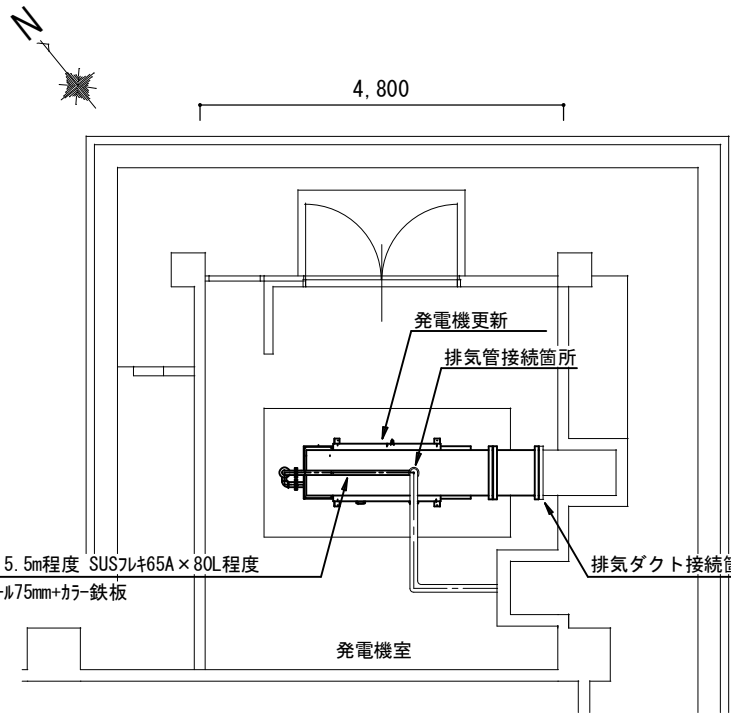
- ・「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

<b>津市久居体育館電気設備改修工事</b>		縮尺 —
図面名称	配置図・位置図・特記仕様書	原図：A3
津市建設部営繕課		1/3



平面図 1/600

5.240  
17.250  
13.500  
13.500  
5.750



発電機室平面図 1/100

排気管 SGP65A×5.5m程度 SUS7x65A×80L程度  
断熱仕様：ロックール75mm+カー鉄板

5.240

要目表(参考)

発電機	形式	横軸回転界磁形同期発電機		エンジン	形式	立形水冷4サイクルディーゼル機関		
	容量	43 kVA			燃焼方式	直接噴射式		
		34.4 kW			定格出力	44.9 kW		
	電圧	220 V			回転速度	3600 min <sup>-1</sup>		
	電流	124 A			総排気量	1.995 L		
	周波数	60 Hz			冷却方式	ラジエータ冷却		
	回転速度	3600 min <sup>-1</sup>			冷却水量	5.6 L		
	相数	3相3線			始動方式	セルモータによる電気始動		
	極数	2極			使用燃料	種類	軽油	
	力率	80%				搭載タンク容量	2.8 L	
	励磁方法	ブラシレス			燃料消費量	13.8 L/h		
	耐熱クラス	発電機	電機子:155(F) 界磁:100(H)		潤滑油量(全量/有効量)	8.6/5.6 L		
		励磁機	電機子:155(F) 界磁:155(F)		ラジエータファン排风量	90 m <sup>3</sup> /min		
	保護方式	開放保護形(IP20)			バッテリー	種類	REH	
	冷却方式	自由通流形(IC01)				容量	DC12V-24AH	
充電方式	半導体式全自動充電		始動時間	40秒				
キュービクル	騒音値	75 dB(A)以下at1mレベル		乾燥質量	755 kg			
	塗装色	5Y7/1 キツヤ		装備質量	792 kg			
ベース	仕様	溶融亜鉛メッキ		認定	(-社)日本内燃力発電設備協会 防災認定品			

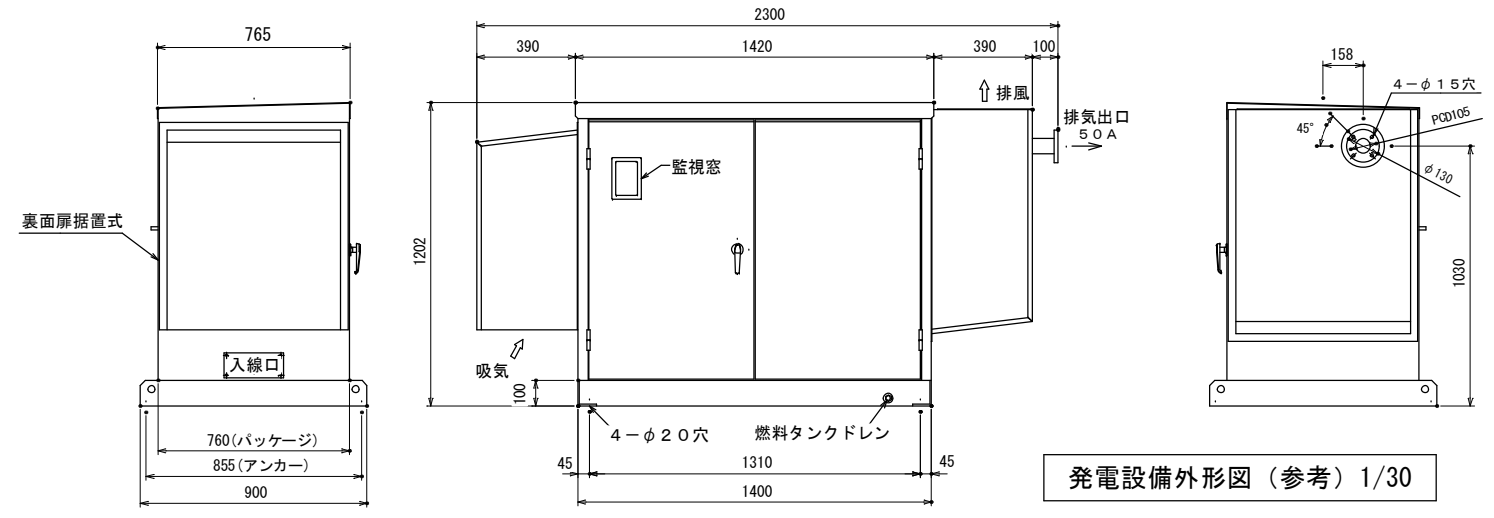
保護警報装置(参考)

項目	デバイス	警報表示灯	警報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油油圧低下	63Q	○	○	○	○	○ (一括)
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過回転	12	○	○	○	○	
始動渋滞	48T	○	○	○	—	
過電流	51	○	○	×	○	
緊急停止	5E	○	○	○	○	

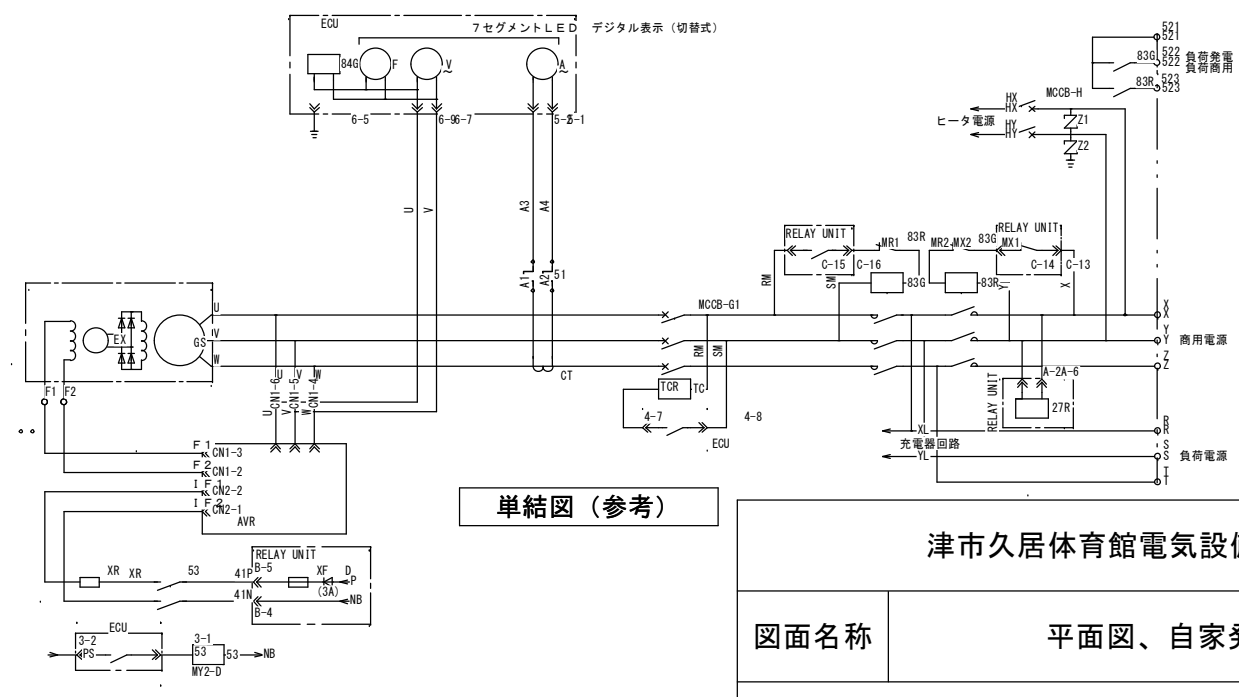
注記

\* 本要目表の各数値は所轄消防署との協議の際に検討された要目であるが、実際のメーカー選定による各数値の変更、方式の変更については所轄消防署の許可を得られることを前提として可能とする。  
\* 本発電機を非常電源とする消火設備については着工届等の申請について所轄消防と打ち合わせを行い遅滞なく行うこと。  
\* 排気管及び排気ダクト継ぎ目部パッキンに石綿が含有しているため、適正に処理及び処分を行うこと。'グロブパッキング'工法による石綿除去工事を行うこと。  
\* 撤去機器仕様

* 定格容量 40KVA (32kW)	* 製造番号 895531-1M
* 定格電圧 220V	* 製造者名 株式会社日立製作所
* 周波数 60Hz	
* 力率 0.8	
* 周辺温度 40℃	



発電設備外形図(参考) 1/30



単結図(参考)

津市久居体育館電気設備改修工事		縮尺 1/600 1/100 1/30
図面名称	平面図、自家発電機設備図	原図: A3
津市建設部営繕課		2/3

直流電源装置仕様(参考)

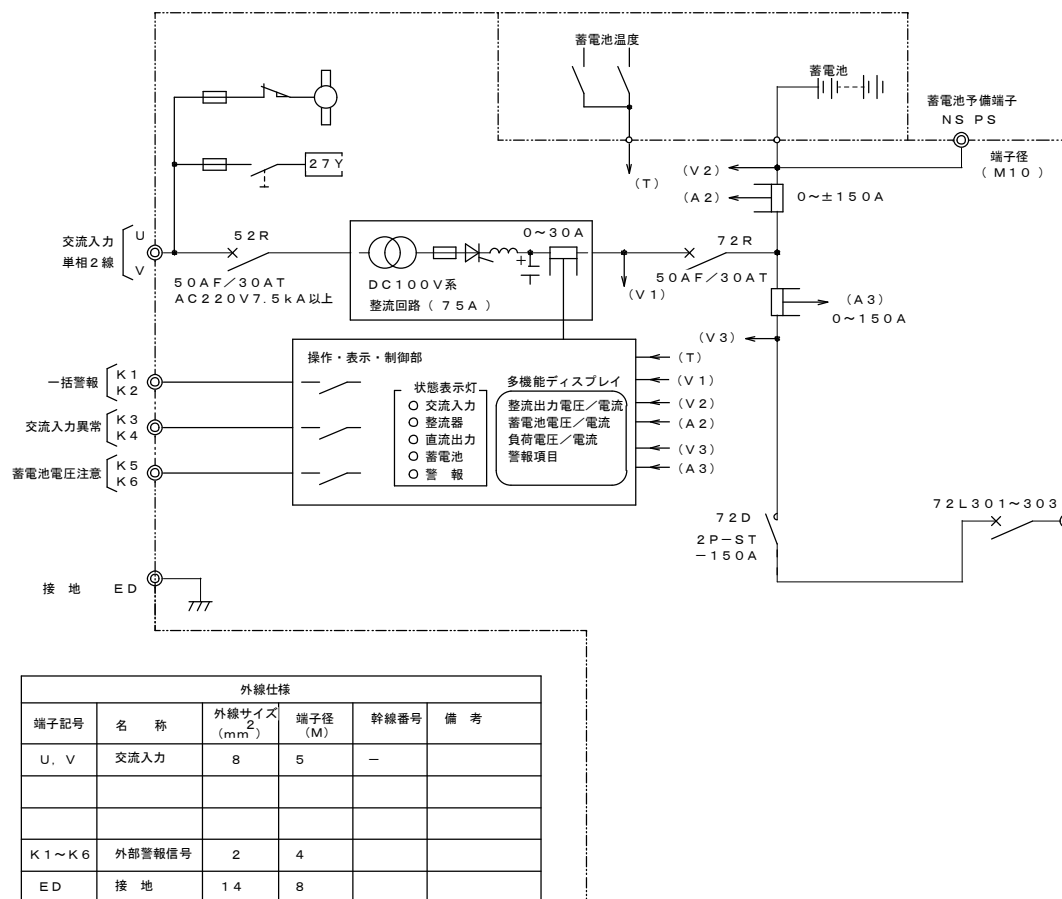
全自動形サイリスタ式整流器		
形式	形式	100V 50A
整流方式	冷却方式	単相全波混合ブリッジ 自然冷却
定格	定 格	連 続
交流相数	電 圧	二 相 200V
電圧変動範囲	電圧変動範囲	180 ~ 220V
周波数	周波数	60Hz
周波数変動範囲	周波数変動範囲	±5%
直流浮動電圧	均等電圧	123.8V 141.9V
電流	最大垂下電流	20A 24A以下
設定電圧精度	設定電圧精度	±1.0%
負荷電圧補償装置	負荷電圧補償装置	-
適応規格	適応規格	JIS, JEM, JEC 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)平成31年版
塗装色	塗装色	N7.0 全艶
耐震強度	耐震強度	震度: 1.0G
予備品	予備品	ヒューズ: 現用同数

蓄電池仕様(参考)

ポケット式アルカリ蓄電池	
形式	AM80P-86
セル数	86セル
公称容量	80AH/5H
公称電圧	108V
浮動充電電圧	123.8V
均等充電電圧	141.9V
保守用具	メーカー標準

\*撤去機器仕様

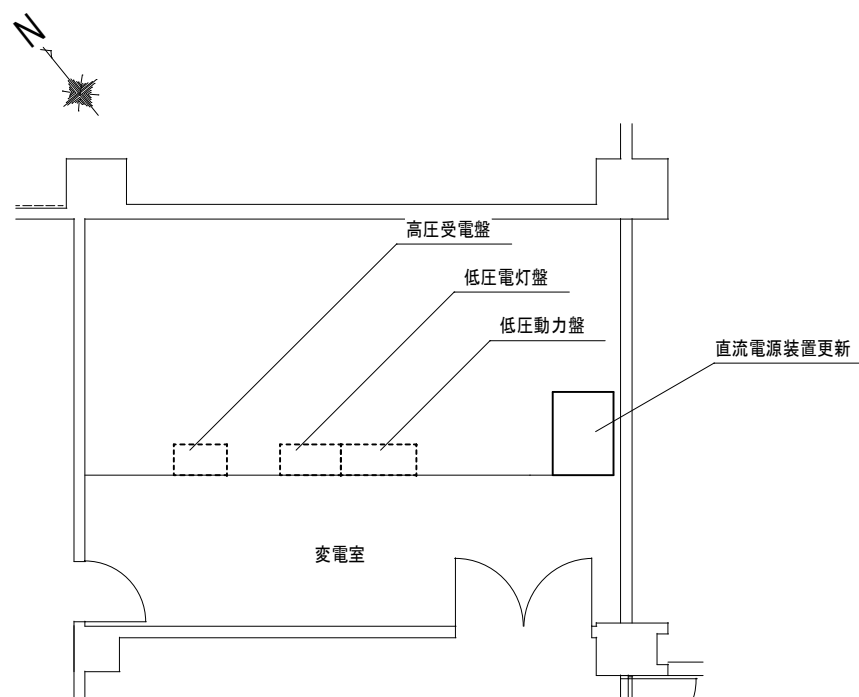
*組電池容量	80Ah (5HR)
*組電池型式	AM80P-86セル
*整流器定格入力	1φ200V 60Hz
*整流器定格出力	DC123.8V 15A
*製造番号	413-0128
*型式認定番号	82A3069 (古川電池)



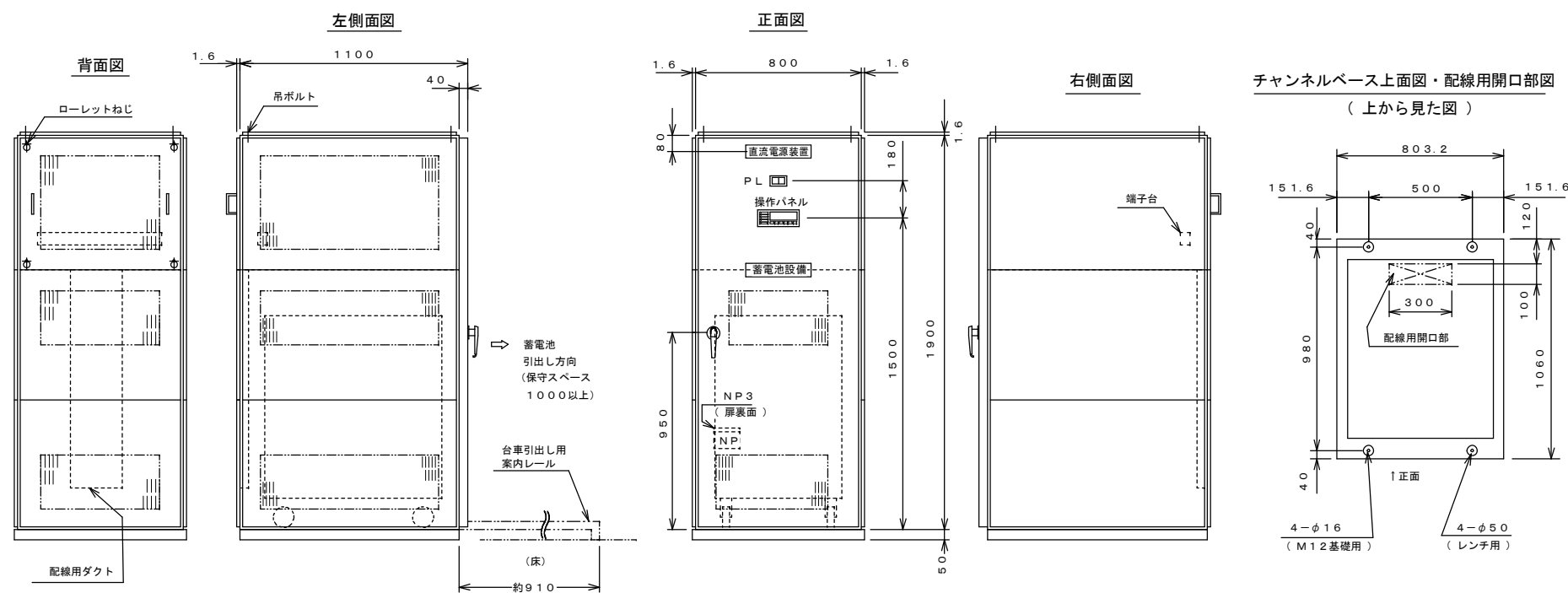
負荷仕様

MCCB番号	端子記号	名 称	容量 (AF/AT)	外線サイズ (mm <sup>2</sup> )	端子径 (M)	容量 (kVA)	幹線番号
72L301	N1, P1	1L-1	50/30	8	5	-	-
72L302	N2, P2	1L-2	50/30	8	5	-	-
72L303	N3, P3	1L-3	50/50	22	6	-	-

単線結線図(参考)



変電室平面図 1/100



直流電源装置外形図(参考)

津市久居体育館電気設備改修工事		縮尺
図面名称	平面図、直流電源設備図	1/100
津市建設部営繕課		原図: A3
		3/3